

5 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実施事業	白石踊後継者育成事業（生涯学習課）
総事業費	955,000 円
ふるさと納税充当額	855,000 円

白石踊は白石島に古くから伝わる盆踊りで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、白石踊をはじめとする41の踊りが「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと言われています。地元白石島の人を中心とする「白石踊会」が保存伝承に努めています。

本事業では、白石踊会が踊り手を育成する定期練習会や、白石踊体験・鑑賞ツアーに合わせて行う出前講座、イベントへの参加などを支援しています。定期練習会では、白石踊会笠岡支部の会員に指導を行い踊りの技術の向上を図ったほか、踊りの担い手を増やすために新会員を募り、踊り方を丁寧に指導しています。また、島内外のイベントにおいて白石踊を披露し、多くの人に踊りの魅力を伝えています。



白石踊会笠岡支部定期練習会



白石踊体験・鑑賞ツアーで披露される白石踊

実 施 事 業	木山捷平生家維持管理事業（生涯学習課）
総 事 業 費	82,248 円
ふるさと納税充当額	68,000 円

木山捷平は笠岡市山口出身の詩人・小説家です。その生家は、明治時代終わり頃（20世紀初頭）の建築で、木山捷平の作品の世界観を良く残しています。平成30年度にご遺族から寄附を受けて以降、少しずつ補修工事を行い、公開活用に向けて環境を整備してきました。

令和7年度は、繁茂していた庭木の剪定を行い、家屋の様子、庭にある捷平の歌碑がよく見えるようになりました。そのほかに、定期的に家屋内部の清掃、庭の除草や清掃を行い、いつでも見学者をお迎えできるように環境を整えました。

今後も良好な環境を保つことができるよう努めて参ります。



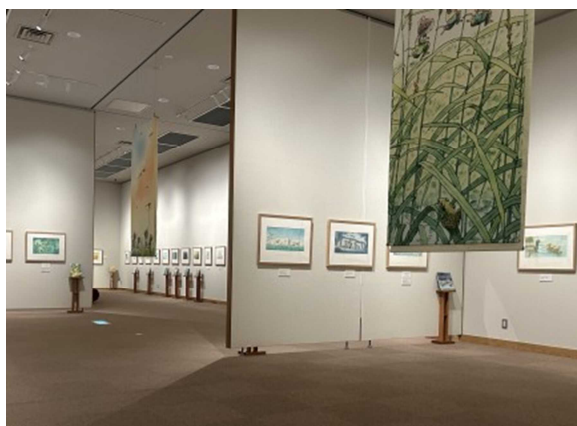
木山捷平生家の庭先

実施事業	竹喬美術館輸送・展示・撤収事業（生涯学習課）
総事業費	3,651,175 円
ふるさと納税充当額	2,132,000 円

令和7年度は、竹喬美術館において4回の展覧会を開催しました。美術館の取扱いには高度な技術を求められ、展覧会に係る作品の借用、輸送、展示、撤収業務を美術品梱包輸送技能士の資格を有する作業員がいる業者に委託しています。

【令和7年度展覧会】

- | | | | |
|-------|---------------|--------------|------------|
| ①テーマ展 | 竹喬美術館ゆかりの画家たち | 第一期 | 4/1～4/6 |
| | | 第二期 | 4/26～6/22 |
| | | 第三期 | 7/12～9/7 |
| ②特別展 | 絵本作家 いわむらかずお | －自然とともに生きる－ | 9/27～11/24 |
| ③特別展 | 知られざる竹喬 | －新出作品と新資料から－ | 12/13～2/8 |
| ④テーマ展 | 竹喬美術館 | 春夏秋冬 | 2/28～3/31 |



特別展 絵本作家 いわむらかずお
－自然とともに生きる－



特別展 知られざる竹喬
－新出作品と新資料から－

実施事業	井笠鉄道記念館管理事業（生涯学習課）
総事業費	1,026,200 円
ふるさと納税充当額	815,000 円

笠岡市井笠鉄道記念館は、井笠鉄道の歴史を後世に伝えるために、笠岡市が引き継いで平成26年3月30日に開館しました。大正時代に活躍した機関車や駅舎を保存・展示しています。市内だけでなく、遠くは関東などから訪れる方もおり、令和7年度には3,000人近くのお客様が来館されました。井笠鉄道記念館の管理と運営に携わる新山地区自治会の皆さんが、日常管理や、掃除、来館者へのおもてなしを行っています。また活用事業として、12月から1月にかけて記念館の建物や屋外に展示された車両を華やかなイルミネーションで飾りつけます。期間中、新山小学校の児童の皆さんがデザインしたクリスマスツリーの絵が車両の窓に展示されています。さらに「小さな村の大きなイベント」と題して、毎年、井笠鉄道記念館まつりの企画・開催も行っています。地元の皆さんの力で大切に受け継がれ、魅力ある施設として、多くのお客様に訪れていただいています。



「井笠鉄道記念館まつり」機関車乗車体験

実施事業	文化財案内看板作成設置事業（生涯学習課）
総事業費	52,800 円
ふるさと納税充当額	52,800 円

笠岡市では、指定文化財の案内板や説明版を設置しています。傷んだり、読みづらくなった表示板については、年次的に新しいものに取り替えています。

令和7年度は、市指定史跡「弓場山古墳」の案内板の建替と、「長福寺裏山古墳群」の説明版の交換を行いました。

弓場山古墳は丘の上にあるため、道路沿いに誘導用の案内板を設置しています。古い案内板は設置から50年が経過し老朽化していましたが、新しい案内板に建て替えたことで見学者が戸惑うことなく古墳を訪れることができるようになりました。

今後も、傷んだ文化財の案内板や説明版は、より分かりやすくなるよう内容を見直したうえで、順次交換して参ります。



弓場山古墳への案内表示板